



今回で5回目となる『KOKORO先生のドイツレポート』ですが、ドイツの日本人学校は、日本の学校とは少し仕組みが違うようで、そのあたりのことも含めてレポートしてくれました。ところで、ドイツにおける新型コロナ感染の状況としては、9月末現在では減少傾向にあり、平均で1日7~8千人の新規感染者が報告されているようです。日本は1日当たり千人程度になってきていますので、それに比べれば、まだまだかなり多そうに思えます。(ちなみにドイツの人口は約8300万人) さてさて、ドイツの日本人学校の今の様子はどうなっているのでしょうか……。



日本人学校でも『運動会』がありましたよ！私が持っているのは、その時のクラスTシャツのデザインで～す

← 実際は、こころ先生の右隣にクラスの4年生4人の子どもたちが写っています。



【岡崎こころ先生】
2016年より中部中勤務。
2021年より日本人学校の先生として単身ドイツへ。
教科: 理科・国語・保健
特技: 剣道・走ること。

コロナ禍での学校生活

中部中の皆さんこんにちは。お久しぶりです。そちらでは、オンラインや分散登校での新学期が始まったと聞いています。こちらは、二学期制のため10月1日までが前期でした。夏休みは8月17日までで、そこから学校が再開しています。ハンブルグ日本人学校では、週に2回、コロナの簡易検査を行っています。綿棒を両鼻に入れ2~3回まわしたあと、液体が入った容器に綿棒を入れて、それを検査キットに垂らします。数分で結果が出ます。毎週するのでみんな慣れてきていて、簡単な検査で結果がわかるため安心して登校しています。

また、運動会も開催されました。例年、補習校(現地の学校に通っている生徒が、日本語の勉強のために土曜日だけ通う学校)の生徒も合同で行っていたのですが、今年はコロナの影響で日本人学校の子どものみとなりました。運動場は全面芝生なので、ラインなどはペンキで塗りました。幼稚園児から中学生までが一緒に参加するので、幅広い年代の子どもの様子が見られて、それもハンブルグ日本人学校ならではの良さだと感じました。転校が多いので、現在はついに4人となってしまった4年生たちと、運動会後に写真を撮りました。各学年とも、保護者の方がクラスTシャツを作ってくれます。4年生は、アリをモチーフにしたデザインにさせていただき、私もすごく嬉しかったです。(【注】こころ先生は蟻の研究者&愛好家)



今後の予定

- 7日(木)・8日(金) 第3回定期試験
- 8日(金) 後期生徒会役員立会演説会・選挙
- 20日(水) 生徒集会
- 22日(金) 中部リンピック(社会)
- 25日(月) 3年生実力テスト③
※この週のいずれかの日で
3年生全クラスGTECを実施
- 27日(水) ノークラブデー



英語科で「GTEC」実施

「GTEC」とは、新しい英語コミュニケーション能力テストのことです。

「Listening(聞く)」「Reading(読む)」「Writing(書く)」「Speaking(話す)」の4技能の英語能力を測ることができるもので、国際標準を満たした英語4技能検定です。スコアは、多くの大学入試や海外留学の際にも活用することができるそうです。